



# ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

2013～2014年度 大宮西ロータリークラブ週報

Vol. 27

創立：1963年3月22日  
例会場：パレスホテル大宮  
例会日：月曜日 12:30～13:30

会長 内山 泰成  
幹事 小沢 孝  
会報委員長 大楽 剛

第2381例会 2014/ 3/10  
発行日 2014/ 3/17  
会報当番 大楽 剛

## 会長あいさつ

内山 泰成 会長

皆様こんにちは。あと十日ほどで春分の日となりますが、まだまだ重いコートが手放せない日々で寒さが続いております。



さて今朝の新聞紙上には、旧大宮市出身の若田光一さんが国際宇宙ステーションの第39代の船長に就任した記事が大きく掲載されております。今まではアメリカ・ロシアの船長がほとんどであり、アジアでは初の船長とのことであります。

また明日で3年を迎える東日本大震災について、震災地域の街の明かりが力強く輝いているのが印象的、復興に向けた努力をはっきり感じ、強く励まされたとコメントされ、宇宙にいる若田さんならではのコメントだと感じました。

また、ソチで開催されているパラリンピックでも日本選手の活躍が報じられております。本日お越しの障害者スキー振興協会の津川様に後程、卓話をお願いしてあります。

タイムリーなお話をお伺い出来ると思います。どうぞ宜しくお願いします。

また3月といえば卒業式です。私も当クラブの会員でもあった佐藤栄太郎先生のご縁で毎年、埼玉栄高校と栄東高校の卒業式に伺います。多くの生徒達が、希望を胸に学び舎を巣だって行きます。

生徒達の感謝の思い、そして先生方の生徒達を見る暖かい眼差しに感動致します。

本日おいでの桜木小学校の宮田校長先生もこれから卒業式を控え、またご自身も今年で桜木小学校をご卒業とのことであります。大変お忙しい中おいで頂きました。

本日週報と共にお配りしてある『桜木小だより』先週私の家に届き拝見させて頂きました。宮田校長先生の～思春期のあなた～と題した内容です。大変衝撃的であり、人間の本質を考えさせられる内容です。どうぞ一読頂きたいと思います。

また、桜木小は当クラブの社会奉仕事業のペット

ボトルキャップの収集にご協力頂いております。そして今年の4月の砂場清掃は桜木小で、6年生の子供たちと一緒にやる事となりました。私たちの例会場はもと、桜木小学校のあった場所であり当クラブと、桜木小学校は縁の深い学校であります。

今後、地域社会奉仕活動も含め、良い関係を構築していけたらと思います。

## お客様ご紹介

渋谷廣慶 副会長

一般社団法人障害者スキー振興協会

代表理事 津川朋也様

さいたま市立桜木小学校 校長 宮田正己様  
野村証券株式会社さいたま支店

新支店長(4/1～) 藤井公房様

青少年交換学生 ドミニー・マクグローアさん

## お客様ご挨拶

さいたま市立桜木小学校

校長 宮田正己 様



## 移動のご挨拶

野村証券株式会社

支店長 君島 真 会員



野村証券株式会社

新支店長 藤井公房 様

(4/1～着任)



## 青少年交換学生

青少年交換学生

ドミニー・マクグローア さん



## 理解・実践・感動

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2

勝俣第2ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: info@rc-omiya-west.com

HomePage : http://rc-omiya-west.com/





## 委員長報告

国際ロータリー第2770地区  
社会奉仕部門  
委員長 清水恒信会員



一昨日地区の12グループ谷口 顕ガバナー補佐のインターシティミーティングにお招きをいただき行って参りました。第1部のセレモニーに続き第2部に第2520地区第7分区分仙台広瀬ゾーンの2011～2012年度ガバナー補佐及び復興特別委員会、委員の深田一弥様がおいでになり「大震災へのロータリークラブの対応と今後の課題」と言うお題の基に、ご講演を頂きました。その講演の中で、義援金を沢山頂いたと言う事で感謝の言葉を申されておりました。しかしながらお金ばかりでは解決の出来ない、心のケアがより以上に大切であることを申し述べられておりました。

先の震災で亡くなられた、お父さん、お母さんの傍に行きたいと言って自殺をした子供さんがいたそうであります。なんと悲しい事でありましょう。どれ位の歳なら亡くなられた人の分も生きて下さいと言えるのでしょうか？一生懸命に生きて、お父さん、お母さんの所へやがて参り、土産話を語ってあげようヨ！！って何時なら言って聞かせられるのだろうか？

悲しくってたまらない。悲しくってたまらない事を、皆様にお伝えしたくてここでお話をさせて頂きました。

会長エレクト  
伊田雄二郎 会員



◆3/6(木)、3/7(金) 第2770地区会長エレクトセミナー(PETS)の報告。

佐藤直樹 社会奉仕委員長



- ◆腎・アイバンクについて
- ◆4/14移動例会。桜木小学校の砂場清掃実施。
- ◆本日の卓話について

## 感謝状

桜木小学校に感謝状。ペットボトルキャップ回収事業にご協力頂きました。

写真左から桜木小学校校長  
宮田正巳様と内山泰成会長



## ホストファミリーにお礼

青少年交換学生ドミニ  
さんのホストファミリー  
(3/11～5/12迄)の齊藤  
照夫会員にお礼



## ゲスト卓話

卓話者ご紹介

齊藤照夫 会員



障害者スキー振興協会の津川朋也さんを紹介します。津川朋也さんは高校3年生の時、阪神淡路大震災に遭い、その時1カ月以上住み込みでボランティア活動に参加したことで、人生観に変化が生じたようです。

その後4年間国内の障害者スキースクールに勤務しながら、理学療法士の資格を取り、身体や障害について詳しく学びました。昨秋一般社団法人障害者スキー振興協会を設立して、紹介者スキーの普及活動に尽力しているところです。まずは津川朋也さんの活動報告をお聞き下さい。

一般社団法人障害者スキー振興協会  
代表理事 津川朋也 様



みなさま、はじめまして、障害者スキー振興協会の津川と申します。

本日は、貴重なお時間を頂戴しました事、また大宮西ロータリークラブ様のご支援を頂きました事、大変感謝しております。

今日はスライドに沿って、障害者スキー振興協会の活動をご紹介させて頂きたいと思います。

では、一枚目のスライドです。私は20歳より17年間に渡り、障害者スキーに携わってきました。4シーズン在籍した障害者専門スキースクールでは、400名ほどのレッスンを担当し、技術を習得しました。また、その後はいろいろな団体の活動へ参加したり、受講生の求める場所でレッスンを行うなど、たいへん充実した活動を行いました。

と言いたいところですが、実はたくさん問題点を見出す事になりました。その問題点を解決するために立ち上げたのが、障害者スキー振興協会。名前の通りの活動ですが、活動目標である、どのような障害があっても『いつでも、どこでも、だれでも』スキーを楽しむ事ができる環境整備。言い換えると、現在はこのような環境は存在しない、という事になります。



まず、道具の説明です。小さいものから、スキーブラという器具です。スキーの先端に固定し、足を開くとボーゲンの状態になるものです。

次はアウトリガーです。杖の先端に小さいスキーがついています。ワンタッチでスキー状態と杖状態になります。足の障害がある方のサポートをする道具です。

次はチェアスキーです。座って滑る道具で、スキー板が一本の物がチェアスキーです。パラリンピックなどで使用しているのは、このような道具です。上達すると競技などに使用できるものですが、バランスを取るのが非常に難しく、腕の筋肉や高いバランス能力が必要になります。リフト乗車の際は、このように座面があがり、リフトに乗ります。

最後はバイスキーです。チェアスキーと違い、二本のスキー板がついています。傾けると二本のスキー板のエッジが立つため、安定性がたかく、バランスの良くない方や腕の筋力が弱い人にも使えます。また、こちらの補助スキーを使えば、手を使えない方も滑る事ができます。リフト乗車の際は、このようになります。

もう一つのバイスキーです。同じように二本のスキー板がついています。より雪面に近く、迫力がある滑りが可能です。こちらもリフトでは、このように座面があがります。



障害者スキーに携わり17年・延べ指導人数500名超、様々な活動現場で見出した問題点、

◇『いつでも (いつまでも)』できない: 多くのイベントでは希望する日程で滑る事が出来ず、障害者専門スクールでは永続性に乏しい。

◇『どこでも』できない: 専門スクールやイベント、ボランティアでは、受講生の希望する場所で滑る事が出来ない。

◇『だれでも』できない: 指導技術の土台は高いスキー技術+専門知識が必要。双方を持ち合わせなければ、安全に楽しく可能性を見出す事が出来ない。

『いつでも、どこでも、だれでも』スキーが出来るために一般のスキースクールでの受入れをすすめています。各地で障害者スキー指導者講習会を実施し、レッスン受入れをサポートしています。

受講生からの言葉を紹介します。『障害を持つ我が子を生んで、二度とスキーは出来ないと諦めていたが、息子とゲレンデに立つ夢が叶った!』『電車好きな息子に、いろいろな電車で、いろいろなスキー場へ行って滑って欲しい!』『俺、欲しいもの

見つけた! マイチェアスキー!』など。

大宮西ロータリークラブ様のご支援でバイスキーを購入し、利用して楽しむ様子が毎日小学生新聞に掲載されました。

ここで、継続支援のお願いをさせていただきます。

◇どのような障害があっても『いつでも、どこでも、だれでも』スキーを楽しむ事ができる環境を整える。この大きな目標を実現するために、私たちは大変困難な道を歩む必要があります。

◇第一は全国各地のスキー場を訪れ活動の趣旨をご説明し、受け入れたいという要望があるスクールインストラクターへ指導スキルを伝えます。当然スクールの数だけ、又はそれ以上に、様々な障害に対応するための器具を揃える必要があります。その後に、実際の受け入れにつながり、梅池スキー学校では3カ年計画で進めております。スキーシーズンはとても短く、その間に成果を出さなければいけません。今後はニーズを掘り起こし迅速にまた、計画的に対応するためには、当協会が柔軟性を持ち、いつでも、どこでも対応できる機動力を持ち合わせなければなりません。その力を持つには、大変多くの経費がかかります。それらを受益者である障害者だけにご負担頂く事は当然不可能な状態です。

◇少しずつですが、スキー場関係者をはじめ、当協会の活動目標をご理解頂く方が増えてきました。しかし、当協会の活動目標は非常に高く、継続したご支援が必要不可欠です。

今後はさらに活動を充実させたく、大宮西ロータリークラブ様の継続ご支援をお願いします。もう一点、当協会では賛助会員様の募集をしております。個人会員様3000円、法人会員様3万円です。ご入会者様にはスノーリボングッズを贈呈しております。

個人会員さま、法人会員さま、ともに、当協会ホームページでご紹介させて頂いております。ご入会希望者がいらっしゃいましたら、入会申込書をお配りしていますので、ぜひ、ご協力のほど宜しくお願いします。

私からの発表は以上になります。ご清聴、大変感謝いたします。ありがとうございました!

## 幹事報告メモ

小沢 孝 幹事

\*/18(金) 2014年地区協議会

場所: 大宮ソニックシティ

9:30 登録 10:20 点鐘

当日持参: 手続き要覧-筆記用具-胸名札

## 次回例会

3/24(月) 第2383例会(夜間例会) 17:30-20:00

『大宮西・岩槻RC創立記念合同例会』

場所: パレスホテル大宮 例会場

プログラム委員会担当

ゲスト講演: 政治学者 カン サンジュン 姜 尚 中 様

テーマ『心』